

# 岐臨技会報

2026年1月20日 発行



<Gifu>Association of Medical Technologists



## ご挨拶

(一社) 岐阜県臨床検査技師会

会長 岡村 明彦

新春の喜びとともに、皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。寒さ厳しい折ではございますが、去年は当会の活動にご参加・ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、令和8年の主な行事として、まず3月15日(日)に岐阜県医学検査学会を予定しております。続いて6月には新人サポート研修会、総会を開催いたします。総会では令和8・9年度の役員改選が行われ、多くの役員交代が見込まれています。

新体制のもとでは、拡大研修会、検査と健康展、健康祭りをはじめ、各部門の研修会や委員会活動が進められる予定です。また、中部圏支部医学検査学会が岐阜県担当として開催されます。岐阜県では地区ごとの輪番制を採用しておりますが、今回は岐阜地区が担当となり、試みとして理事会との合同運営といたしました。岐阜地区以外からも実行委員に加わっていただき、準備を進めております。

昨年6月には、松波総合病院の森本先生を学会長とする「2026 中部圏域支部医学検査学会実行委員会」が立ち上がり、すでに活動を開始しています。現在、ポスターやPVも完成し、機会あるごとにPVを上映して学会の周知を図っております。PVは岐阜県臨床検査技師会ホームページのバナーからご覧いただけますので、ぜひ一度ご視聴ください。

今回の中部圏域支部医学検査学会は、6年ぶりの岐阜県開催となります。せっかくの機会ですので、ぜひ参加や発表をご検討いただき、県内会員一丸となって成功に導きたいと考えております。皆様にはご多忙のところ恐縮ですが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員ならびに賛助会員の皆様には、日頃より当会への深いご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 令和8年度日臨技中部圏支部 医学検査学会（第64回） 実行委員会報告



学会長	森本 剛史	松波総合病院
副学会長	菊地 良介	岐阜大学医学部附属病院
副学会長	長屋 麻紀	岐阜県総合医療センター
事務局長	山口 明彦	中部国際医療センター
副事務局長	直井 晶子	JA岐阜厚生連 飛騨医療センター 久美愛厚生病院
実行委員長	帖佐 光洋	修文大学
副実行委員長	乙訓 貴之	岐阜医療科学大学
副実行委員長	酒向 俊孝	東海細胞研究所
会計	苅谷 美里	澤田病院
学術	石田 秀和	岐阜大学医学部附属病院
広報	林 淳司	メディック
会場	上野 嘉彦	岐阜大学医学部附属病院
展示	川出 真由美	松波総合病院
情報交換会	福岡 玲	岐阜県総合医療センター

## 令和8年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第64回）実行委員会始動

学会長 松波総合病院 森本 剛史

令和8年度日本臨床衛生検査技師会中部圏支部医学検査学会（第64回）を開催するにあたり一言ご挨拶申し上げます。

令和8年10月31日(土)・11月1日(日)の2日間、岐阜県長良川国際会議場におきまして行われます。

前回、令和元年度に第58回の本学会が岐阜県で開催されたときは、台風19号が直撃して、大幅な縮小を余儀なくされました。まずは災害もなく無事に開催されることを願っています。

さて、本学会ではテーマを「臨床検査の『力』で未来を拓く」～技術力・連携力・応用力・人間力・創造力～といたしました。近年、超高齢化社会が進行し、医療費の増加と社会保障費の膨張が深刻化する中、労働力不足によるタスクシフト導入や病院経営の危機による病院統廃合や地域医療構想の再編が進行中であり、残念ながら明るい話題は少ない状況となっています。しかしながら医療技術は著しい進歩を遂げており、特に遺伝子診断やAI技術の進歩により、医療が様変わりしていこうとしています。私たち臨床検査技師も、直面する問題解決や新技術への対応に、チーム医療の一員として乗り遅れることなく、臨床検査の『力』をもって連携して未来を拓く必要があります。本学会で参加者各々の立場において、後押しする『力』となれば幸いです。

岐臨技会員の皆様には学会運営や演題発表のご協力をお願いすることとなりますが、開催担当県の宿命でもあります。岐臨技が一つとなって学会成功となることを願っています。

## 令和7年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第63回）運用見学～三重～

2025年11月1日（土）～11月2日（日）

次年度担当の岐阜県からは実行委員12名が次年度開催ブース担当と運用見学として参加してきました。毎回、オリジナリティーあふれる三重県企画ですが、今年度も様々な企画が繰り広げられていました。会長基調講演、日臨技企画、学生フォーラム、特別講演3、支部シンポジウム、シンポジウム6、教育カンファレンス6、部門企画9、三重県企画、一般演題131（口演60、ポスター71）

次年度開催担当の岐阜県は、三重県から熱いバトンを受け取ってきました。この流れをしっかりと受け継ぎたいと思います。実行委員会では企画と予算を作成中であります。引き続き岐臨技会員の皆様のご協力をお願いします。

### 令和7年度 日臨技 中部圏支部医学検査学会（第63回）に参加して ～次年度の岐阜県開催に向けて～

地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター  
福岡 玲

令和7年11月1日（土）・2日（日）に、津市の三重県総合文化センターで開催された令和7年度 日臨技 中部圏支部医学検査学会（第63回）に参加しました。学会のテーマは“最前線 ～One step forward～”であり、肝線維化進行リスクを評価する指標であるELFスコア（2024年2月1日保険収載）に関するセミナーや、一日かけて遺伝子検査の歴史からCAP認定まで学べる遺伝子検査セミナーなどは、まさに新しい臨床検査を象徴する代表的なプログラムのひとつであったと思います。

また、パニック値報告に関しては教育カンファレンス3題に加えてランチョンセミナー1題が開かれ、関心の高さがうかがい知れました。2024年12月の医療事故調査・支援センターによる提言第20号“血液検査パニック値に係る死亡事例の分析”から約1年となりますが、多くの医療機関では提言の一部しか対応できておらず、十分な体制とは言えません。血液検査に限らずパニック値報告のあり方に関しては、今後も継続して向き合っていくべき課題であると痛感しました。遺伝子検査セミナーでCGI社CEO ジュリー・コルビー氏は、福沢諭吉やウォルト・ディズニーらの言葉を引用し、「現状維持は衰退であり、イノベーション（革新）は生存」と述べていました。現状に甘んじているようでは、臨床検査の未来は衰退していつてしまうのかもしれない。

次年度の日臨技 中部圏支部医学検査学会（第64回）は岐阜県での開催となります。学会のメインテーマ“臨床検査の「力」で未来を拓く”のように、日々変化していく技術や知識に合わせて、自分自身や臨床検査のあり方を変革しなければと感じた学会でした。







## 検査と健康展を終えて

組織調査部 澤野 晴夫

今年度の岐阜県臨床検査技師会の検査と健康展は、12月7日（日）にイオンモール大垣で行いました。学術部各部門の企画内容は、「AGEs 測定体験・化学発光を見てみよう」「身近にある生活用品をエコーでみてみよう」「疑似尿による尿定性検査」「血液細胞の観察・健康モニタリング装置ASTRIMを用いたヘモグロビン測定」「体内臓器を細胞まで見てみよう・人間の臓器の位置を知ろう」「認知症チェック・物忘れチェック」「輸血検査と献血」「遺伝子検査の説明」など多種にわたりました。事前に、健康意識が高い住民の方が多いとイオンモール担当者から伺っており、呼び込みをすると来場してくださる方が多くみられました。エコー検査を体験された方は病院で検査することがあるが、実際に手で触れてみて体験できたと喜んでいただけました。また、人体模型の臓器パズルには多くのお子さんが興味を持ち体のことを学べるきっかけになったと

思います。そして化学発光の簡易実験キットを使用し病院で行われる生化学検査の仕組みも興味を持ち体験していただきました。病院で受ける検査を実際に目の前で説明できることで検査の仕組みや重要性に触れていただくことができ検査と健康に対する啓発活動ができたと感じました。

また、健康相談は、来場された方が医師から時間をかけて健康についての相談ができる場になっていました。

今回も、岐阜医療科学大学の学生さんと先生に参加いただきカードゲームを使いながらお子さんに学校の説明や、技師会の各ブースにも入ってもらい技師とともに検査と健康展の運営をしていただきました。大学との活動で、臨床検査技師になるための学ぶことことから実際の仕事までを通して体験をする場の提供ができたと思います。

今年度もご協力いただきました皆様に感謝を申し上げます。



**岐阜県臨床検査技師会  
精度管理報告会**

開催日：令和8年1月25日（日）  
開催方式：Web開催  
（Zoomミーティング）  
申込期限：1月16日  
参加費：無料

**臨床生理部門 精度管理報告会**

開催日：令和8年2月1日（日）  
14：00～15：30  
開催方式：LIVE配信（Zoomミーティング）  
申し込み期限：1月16日  
参加費：無料

**生物化学分析部門研修会  
精度管理報告会**

開催日：令和8年2月7日（土）  
14：00～16：00  
開催方式：LIVE配信（Zoomミーティング）  
申し込み期限：2月1日  
参加費：無料



←さらに詳しい情報は  
こちらから！

**臨床血液学部門研修会**

開催日：令和8年2月14日（土）  
14：00～15：30  
開催方式：Zoomウェビナー  
申し込み期限：2月7日  
参加費：無料

**第3回 臨床一般部門研修会**

開催日：令和8年3月1日（日）  
12：30～16：30  
開催方式：現地開催  
岐阜大学医学部本館 2階  
組織実習室 （2N22）  
申し込み期限：2月23日  
参加費：2,000円



# 第63回岐阜県医学検査学会

【日時】 3月15日（日） 9時受付開始 9時30分開催

【場所】 岐阜県県民ふれあい会館（OKBふれあい会館）302大会議室  
〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53

【教育講演】

「岐阜県の感染症発生状況と対応」

講師：岐阜県健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策係 松岡 真史先生

【市民公開講座】

「あなたは眠れていますか

～睡眠の仕組みを知って良い睡眠を取りましょう～」

講師：GIFU Sleeping Labo代表 石郷 景子先生



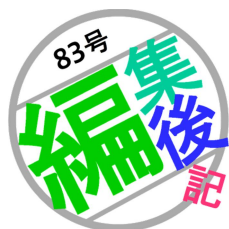
【ランチョンセミナー】

① 子宮頸がん検診市場の未来

（ロシュダイアグノスティック株式会社）

② PSAを初めからていねいに 基礎から臨床まで

（ベックマン・コールター株式会社）



新年あけましておめでとうございます。今回は、今年の活動に加え、会長より今年の予定や新体制への思いが語られ、2026年のスタートにふさわしい内容となりました。春には岐阜県医学検査学会、夏には新人サポート研修会、そして秋に開催される中部圏支部学会の準備も進んでおり、今年も盛りだくさんの一年になりそうです。ホームページで中部圏支部学会のPVを見ることが出来るのでみなさん一度見てください。活動報告を拝見していると、会員のみなさんの前向きな姿勢にこちらも元気をもらえます。会報誌も、そんな熱量を楽しく伝えられる存在でありたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。（文責 市川）

発行所（一社）岐阜県臨床検査技師会

〒500-8383 岐阜市江添2丁目5-15 ソシエ2001-305号室

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220

発行責任者 岡村 明彦

編集者 市川 浩良 種村 久子

E-mail giringi-office@giringi.jp